

■「柏市立柏病院再整備基本計画（案）」へのパブリックコメント実施結果

NO.	意見	市の考え方
1	<p>ZEB化想定(工事費等)14.1 億円とあるが、その費用分のメリットがあるのか。 ZEB化想定(工事費等)14.1 億円は、どのような設備が導入されるのか。 その分の税金を高度医療機器の整備に活用したほうが、利用者のためにならないか。</p> <p>病床数を現在の200 床から240 床へ増床予定とあるが、現在の利用率は何%？ 今後人口が1.2倍になるのか。この病院のエリアだけ集中的に人口が増えるのか。 この病院を利用している人の多い地域の人口予測で病床数を決めないと将来余らないか。 病床を23億円かけて増やす意味があるのか。</p> <p>解体費でアスベスト対策や既存・新設の建物や利用者への影響の軽減に1.9億円もかかる？ 今みんなが利用中の病院にアスベストがある？</p> <p>免震建物にはしないのか。免震にすれば大地震でも建物のダメージはほぼゼロになるのでは？</p>	<p>○ZEB化について ZEB化については、「柏市公共施設等低炭素化指針（平成30年5月）」及び「柏市役所ゼロカーボンアクションプラン（2023年2月）」において、公共施設等の新築時（既存建物の建替えを含む）には、原則、ZEB化（ZEBReady以）をすることとしているため、概算事業費の項目に加えているものです。 ZEB化によるメリットとしましては、二酸化炭素の排出量削減や、光熱水費等ランニングコストの低減などが期待されますが、ご指摘のとおり、病院の場合は、ZEB化による事業費が多額になるため、具体的な整備内容等（どの程度まで実施するか）につきましては、次年度以降に実施する基本設計時にメリットやデメリットを検証した上で、ZEB化の検討を進めていきます。</p> <p>○病床数について 直近の令和3年度病床利用率は、新型コロナウイルス感染症患者の専用病床を確保していた影響で51.0%でした。なお、新型コロナウイルス感染症流行以前の平成30年度病床利用率は78.3%でした。 建替え後の病床数設定にあたっては、将来的な人口推計だけでなく、高齢化に伴う受療率の増加、病院の機能強化による救急搬送件数の増加等を踏まえて設定しています。</p> <p>○解体費について アスベストについては、建物の解体前に、建築資材等にアスベストが含まれているかを調査する義務があります。仮にアスベストが含まれている場合は、解体時にアスベストが飛散しないように考慮する必要がありますため、その対策費を見込んでいます。なお、これまでに、既存施設での小規模工事の際に、その工事箇所についてアスベスト調査を実施していますが、これまでの調査結果では、病院内のエリアにはアスベストは含まれていません。また、新病院の建設場所と既存施設が限りなく近接する計画であるため、既存施設解体時の騒音・振動対策は十分に注意しなければならないと認識しています。</p> <p>○免震について 免震建物は、建物損傷の軽減や備品類の転倒を軽減することなどが期待される一方で、整備費の大幅な増額や定期的なメンテナンスによる維持費の増加が見込まれます。費用面の負担と、大地震時の病院機能の維持や、災害時の市立柏病院が担う役割などを確認しながら、最終的には、基本設計時に「免震」や「制震」、「耐震」それぞれのメリットやデメリットを踏まえた上で、決定をしていきます。</p>
2	<p>どの案も稼働率を上げられるとは思いますが、北側案・南西側案はフロア面積が狭いため上下移動の動線が増えて効率が悪く、スタッフも各階に配置すると増員が必要になります。 中央案は細長く、現状の問題点である「ナースステーションから遠い病室」をなくすことができません。 バスロータリーを一時閉鎖して仮診病棟を建てて、現在の施設を壊しながら建て替え、効率の良い新病院にすべきです。 移転を廃案にし現地建て替えを選んだ時点で、建て替え費用が高額になることは覚悟できているはずですが、</p>	<p>ご指摘の中央案での病棟につきましては、1看護単位の病床数を現在より少なくする予定であること、また、ナースステーションの位置を含む病棟の配置計画を工夫することで、ナースステーションから病室までの距離を短縮したいと考えています。基本設計では、スタッフの視点に加えて、患者の視点からも快適な療養環境となるように、可能な限りそれぞれの動線に配慮した配置を検討していきます。 なお、「バスロータリーを一時閉鎖して仮診病棟を建てる」御提案についてですが、バスロータリーを一時閉鎖した場合は利用者への影響が大きくなり、建て替え時に仮設の建築物が多くなればなるほど事業費も高額になっていきます。 そのため、様々な案を検討した結果、建て替え時の仮設を可能な限り少なくして、建て替えた後に残る本設の建築物に効果的に費用を掛けることのできる中央案を最良の選択肢と判断しました。 現地建て替えであっても最小の経費で最大の効果をあげられるよう、費用面と運用面のバランスを考慮しながら進めていきます。</p>
3	<p>新しい市立病院に期待します。トイレをもっと広くして、検尿のとき、ゆったり動けるようにして下さい。バッグやコートをかけるフックを中位の高さにもつけて下さい。背の低い人や障害者にもとどくようにつけて下さい。</p>	<p>トイレの面積は、既存施設よりも広くする予定ですので、検尿時も今よりも行いやすくなると考えています。小児患者やご高齢のかた、障害をお持ちの方など、様々な利用者にとって利用しやすい施設となるよう検討します。</p>
4	<p>柏市立病院の建て替えには大変喜んでいますが、平素、近くで利用しています。救急の時もお医者さんに丁寧に診療頂き有難く思っています。 近ねんはバリアフリーの病院も増えていますので、子どもからお年寄りまで、使いやすいのを希望します。 駐車場を近所の所を借りて早く立替えを望みます。</p>	<p>上記の回答と同様、様々な利用者にとって利用しやすい施設となるよう検討します。 基本計画で最良と判断した中央案での建替えは、既存の駐車場にはほとんど影響なく建設できる予定ですが、ご指摘のとおり、必要に応じて近隣の敷地を借用することも選択肢に入れつつ、建替え計画を進めていきます。</p>
5	<p>基本計画概要版を拝見いたしました。およその計画は理解できました。 利用者の立場から意見を申し上げます。順不同です。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 新病院の目指す姿 柏市を中心とする地域医療の中核となる姿を理念としても示してほしい。 2. 期待される役割と機能の強化 高齢者の患者が多くなるので、安心して対応してくれる医療施設としての役割を期待する。 3. 新病院の施設規模 病床数は240床とありますが、1部屋のベッドの数は4床ということですね。トイレは多目的トイレで統一されるのでしょうか。 4. その他の整備運営計画 気になるのは人員計画ですが、「働き甲斐のある魅力ある職場環境を創出」とありますが、今後どう具体化するのを見守りたい。 5. 関連施設の方向性 介護老人保健施設は敷地内に仮設を設置することを基本とするとありますが、将来はどのような運営を計画しているのか。介護老人保健施設は廃止するのか。 	<p>○新病院の目指す姿について ご指摘のとおり、二次医療機関として地域の中核的な病院となること、また、公立病院として小児医療やセーフティネットの役割を担うことを目指しています。頂きました御意見を踏まえ、表現内容を一部変更しました。</p> <p>○期待される役割と機能の強化について 小児患者やご高齢のかた、障害をお持ちの方など、様々な利用者にとって安全安心で利用しやすい施設整備を行っています。</p> <p>○新病院の施設規模について 病室については、個室及び4床室を想定していますが、詳細は基本設計時に検討します。なお、トイレについては、設置場所ごとに利用者のニーズを考慮して、多目的トイレと男女別トイレ、またトイレ内の設備等を検討します。バリアフリーの視点も踏まえた上で、様々な利用者が利用しやすい施設整備を進めていきます。</p> <p>○その他の整備運営計画について 今後、医師や看護師をはじめとする医療スタッフの確保が困難になることを踏まえて、このような目標を掲げました。今後の具体化については、病院スタッフ、特に若手スタッフなども交えて意見交換を行いながら、検討を進めていきたいと考えています。</p> <p>○関連施設の方向性について 現在、介護老人保健施設B棟に入っている事業所等の将来的なあり方は、病院の建替えと併せて、今後、検討する予定です。現段階で介護老人保健施設を廃止する予定はありません。</p>